

補助金評価シート

区分	重点 (重点以外)	補助根拠	法令補助 ・ (その他補助)	開始時期	令和5年4月1日	終期	令和8年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]		有明福祉会館補助金 地域住民に福祉活動の拠点としての「場」を提供するとともに、専任職員を配置しボランティア活動の援助・育成をはじめとする各種福祉事業を実施し地域の福祉の推進に寄与する有明福祉会館の運営を支援する。					
款・項・目		民生費・社会福祉費・社会福祉総務費					
所属等		福祉部 福祉総務課				電話 025-226-1173	

年 度		令和5年度（1年目）		令和6年度（2年目）		令和7年度（3年目）	
予算額等の推移	予算(千円)	3,037		3,037		3,037	
	決算(千円)	3,037		3,037		3,037	
補助率		62.5%		27.0%		23.6%	
目 標		有明福祉会館年間利用者数 6,000人 <目標が数値でない場合の評価方法>					
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上						
	達成率 80%以上						
	達成率 50%以上	60.2%	3,612人	61.6%	3,693人	66.7%	4,000人
	達成率 50%未満						
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください						
補助事業者による情報の公表		事業用パンフレットに記載					

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	○
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 感染症対策を講じながら、各種事業等を実施していくことで、福祉活動の拠点の「場」として利用してもらい、コロナ禍前の利用者数（6,000人超）に回復するように努めていく。 <g～hにおける取組>			
目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか> 令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、会館利用の停止や各種事業の中止や縮小を余儀なくされ、利用者数が大幅に減少した。その後利用者数は再び増加傾向にあるが、目標利用者数までは回復していない。				
① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止 ①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 当該施設は、開設以来、地域住民に福祉活動の拠点としての「場」を提供するとともに、専任職員を配置し、ボランティア活動の援助・育成をはじめ、各種事業を実施し、地域関係団体・組織との連携強化や地域の福祉に尽力しているため。 今後子どもの居場所づくりや自治会・町内会への利用の呼びかけを通じて利用者の増加を図っていく。					